【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【公表番号】特表2003-528194(P2003-528194A)
【公表日】平成15年9月24日(2003.9.24)
【出願番号】特願2001-569066(P2001-569066)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ　23/08　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　65/40　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　 3/28　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　 5/18　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　23/26　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　23/10　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　23/20　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　45/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　65/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ　23/08
Ｂ６５Ｄ　65/40　Ｄ
Ｃ０８Ｊ　 3/28
Ｃ０８Ｊ　 5/18　ＣＥＳ
Ｃ０８Ｌ　23/26
Ｃ０８Ｌ　23/08
Ｃ０８Ｌ　23:10
Ｃ０８Ｌ　23/08
Ｃ０８Ｌ　23:20
Ｃ０８Ｌ　23/08
Ｃ０８Ｌ　45:00
Ｃ０８Ｌ　23/08
Ｃ０８Ｌ　65:00

【誤訳訂正書】
【提出日】平成22年12月24日(2010.12.24)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】特許請求の範囲
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　単層フィルム、又は多層フィルムの内の１層を作製するためのポリマーにおいて、該ポリマーが第１成分と第２成分とのブレンドを含有し、
該第１成分が、０．９１５ｇ／ｃｃ未満の密度を有する、エチレンとα－オレフィンとのコポリマーからなり、また、該ブレンドの重量で９９％ないし５５％の量で存在し；
該第２成分が、該ブレンドの重量で４５％ないし１％の量であり、また、（１）プロピレン含有ポリマー、（２）ポリブテンポリマー、（３）ポリメチルペンテンポリマー、（４）環状オレフィン含有ポリマー及び（５）架橋型多環式炭化水素含有ポリマーからなる群より選択され；そして
該ブレンドが、フィルムに作製されたとき、５ミルないし１５ミルの厚さを有するフィルムについて、ＡＳＴＭ　Ｄ８８２に従って測定されると６０，０００ｐｓｉ未満の弾性

率、ＡＳＴＭ　Ｄ１００３に従って測定されると２５％未満の内部ヘーズ、２超の内部粘着力の等級、１２０℃で２７ｐｓｉの荷重のもとで１５０％以下の試料クリープを有すること、及び該フィルムがヒートシール可能である、又はヒートシールされてシール部を有する容器となり、該容器が１２１℃で１時間加圧蒸気滅菌されたとき、該シール部が無傷のままであり、

該フィルムが、２０ｋＧｙないし２００ｋＧｙの線量で電子ビーム放射線を受けることを特徴とする、ポリマー。

【請求項２】　前記プロピレン含有ポリマーが、ポリプロピレンのホモポリマー、並びにプロピレンと、２ないし１７個の炭素を有するα－オレフィンから選ばれる１種以上のコモノマーとのランダム及びブロックコポリマー並びにランダム及びブロックターポリマーから成る群から選ばれることを特徴とする、請求項１に記載のポリマー。

【請求項３】　前記第２成分が、前記コポリマーの重量で１－６％のエチレン含量を有する、プロピレンとエチレンとのコポリマーであることを特徴とする、請求項２に記載のポリマー。

【請求項４】　前記第２成分が、第１プロピレン含有ポリマーと第２プロピレン含有ポリマーとのブレンドであることを特徴とする、請求項２に記載のポリマー。

【請求項５】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１溶融流量を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２溶融流量を有し、ここで、該第１溶融流量が該第２溶融流量の３倍超であることを特徴とする、請求項４に記載のポリマー。

【請求項６】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１溶融流量を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２溶融流量を有し、ここで、該該第１溶融流量が該第２溶融流量の５倍超であることを特徴とする、請求項４に記載のポリマー。

【請求項７】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１融点温度を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２融点温度を有し、ここで、該第１融点温度が該第２融点温度より少なくとも５℃高いことを特徴とする、請求項４に記載のポリマー。

【請求項８】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１融点温度を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２融点温度を有し、ここで、該第１融点温度が該第２融点温度より少なくとも１０℃高いことを特徴とする、請求項４に記載のポリマー。

【請求項９】　前記α－オレフィンが３ないし１７個の炭素を有することを特徴とする、請求項１に記載のポリマー。

【請求項１０】　前記α－オレフィンが４ないし８個の炭素を有することを特徴とする、請求項１に記載のポリマー。

【請求項１１】　エチレンとα－オレフィンとの前記コポリマーが単一サイト触媒を使って得られることを特徴とする、請求項１０に記載のポリマー。

【請求項１２】　ＡＳＴＭ　Ｄ１００３に従って測定されると前記内部ヘーズが１５％未満であることを特徴とする、請求項１に記載のポリマー。

【請求項１３】　単層フィルム、又は多層フィルムの内の１層を作製するためのポリマーにおいて、該ポリマーが第１成分と第２成分とのブレンドを含有し、

該第１成分が、０．９１５ｇ／ｃｃ未満の密度を有する、エチレンとα－オレフィンとのコポリマーからなり、また、該ブレンドの重量で９９％ないし５５％の量で存在し；

該第２成分が、該ブレンドの重量で４５％ないし１％の量であり、また、（１）プロピレン含有ポリマー、（２）ポリブテンポリマー、（３）ポリメチルペンテンポリマー、（４）環状オレフィン含有ポリマー及び（５）架橋型多環式炭化水素含有ポリマーからなる群より選択され；そして

該フィルムが、２０ｋＧｙないし２００ｋＧｙの線量で電子ビーム照射を受けること、を特徴とする、ポリマー。

【請求項１４】　前記ブレンドが、フィルムに作製されたとき、５ミルないし１５ミルの厚さを有するフィルムについて、ＡＳＴＭ　Ｄ８８２に従って測定されると６０，０００ｐｓｉ未満の弾性率、ＡＳＴＭ　Ｄ１００３に従って測定されると２５％未満の内部ヘーズ、２超の内部粘着力の等級、１２０℃で２７ｐｓｉの荷重のもとで１５０％以下の

試料クリープを有すること、及び該フィルムがヒートシール可能である、又はヒートシールされてシール部を有する容器となり、該容器が１２１℃で１時間加圧蒸気滅菌されたとき、該シール部が無傷のままであることを特徴とする、請求項１３に記載のポリマー。

【請求項１５】　前記フィルムが、電子ビーム放射線に曝露されるとき、周囲条件より低い酸素分圧に曝されることを特徴とする、請求項１３に記載のポリマー。

【請求項１６】　前記プロピレン含有ポリマーが、ポリプロピレンのホモポリマー、並びにプロピレンと、２ないし１７個の炭素を有するα－オレフィンから選ばれる１種以上のコモノマーとのランダム及びブロックコポリマー並びにランダム及びブロックターポリマーから成る群から選ばれることを特徴とする、請求項１３に記載のポリマー。

【請求項１７】　前記第２成分が、前記コポリマーの重量で１－６％のエチレン含量を有する、プロピレンとエチレンとのコポリマーであることを特徴とする、請求項１３に記載のポリマー。

【請求項１８】　前記第２成分が、第１プロピレン含有ポリマーと第２プロピレン含有ポリマーとのブレンドであることを特徴とする、請求項１３に記載のポリマー。

【請求項１９】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１溶融流量を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２溶融流量を有し、ここで、該第１溶融流量が該第２溶融流量の３倍超であることを特徴とする、請求項１８に記載のポリマー。

【請求項２０】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１溶融流量を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２溶融流量を有し、ここで、該第１溶融流量が該第２溶融流量の５倍超であることを特徴とする、請求項１８に記載のポリマー。

【請求項２１】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１融点温度を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２融点温度を有し、ここで、該第１融点温度が該第２融点温度より少なくとも５℃高いことを特徴とする、請求項１８に記載のポリマー。

【請求項２２】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１融点温度を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２融点温度を有し、ここで、該第１融点温度が該第２融点温度より少なくとも１０℃高いことを特徴とする、請求項１８に記載のポリマー。

【請求項２３】　前記α－オレフィンが３ないし１７個の炭素を有することを特徴とする、請求項１３に記載のポリマー。

【請求項２４】　前記α－オレフィンが４ないし８個の炭素を有することを特徴とする、請求項１３に記載のポリマー。

【請求項２５】　エチレンとα－オレフィンとの前記コポリマーが単一サイト触媒を使って得られることを特徴とする、請求項２３に記載のポリマー。

【請求項２６】　単層フィルムにおいて、該フィルムが第１成分と第２成分とのブレンドを含有し、

該第１成分が、０．９１５ｇ／ｃｃ未満の密度を有する、エチレンとα－オレフィンとのコポリマーからなり、また、該ブレンドの重量で９９％ないし５５％の量で存在し、

該第２成分が、該ブレンドの重量で４５％ないし１％の量であり、また、（１）プロピレン含有ポリマー、（２）ポリブテンポリマー、（３）ポリメチルペンテンポリマー、（４）環状オレフィン含有ポリマー及び（５）架橋型多環式炭化水素含有ポリマーからなる群より選択され、そして

該フィルムが、５ミルないし１５ミルの厚さを有するフィルムについて、ＡＳＴＭ　Ｄ８８２に従って測定されると６０，０００ｐｓｉ未満の弾性率、ＡＳＴＭ　Ｄ１００３に従って測定されると２５％未満の内部ヘーズ、２超の内部粘着力の等級、１２０℃で２７ｐｓｉの荷重のもとで１５０％以下の試料クリープを有すること、及び該フィルムがヒートシール可能である、又はヒートシールされてシール部を有する容器となり、該容器が１２１℃で１時間加圧蒸気滅菌されたとき、該シール部が無傷のままであり、

該フィルムが、２０ｋＧｙないし２００ｋＧｙの線量で電子ビーム放射線を受けること、

を特徴とする、単層フィルム。

【請求項２７】　前記プロピレン含有ポリマーが、ポリプロピレンのホモポリマー、

並びにプロピレンと、２ないし１７個の炭素を有するα－オレフィンから選ばれる１種以上のコモノマーとのランダム及びブロックコポリマー並びにランダム及びブロックターポリマーから成る群から選ばれることを特徴とする、請求項２６に記載のフィルム。

【請求項２８】　前記第２成分が、前記コポリマーの重量で１－６％のエチレン含量を有する、プロピレンとエチレンとのコポリマーであることを特徴とする、請求項２７に記載のフィルム。

【請求項２９】　前記第２成分が、第１プロピレン含有ポリマーと第２プロピレン含有ポリマーとのブレンドであることを特徴とする、請求項２７に記載のフィルム。

【請求項３０】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１溶融流量を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２溶融流量を有し、ここで、該第１溶融流量が該第２溶融流量の３倍超であることを特徴とする、請求項２９に記載のフィルム。

【請求項３１】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１溶融流量を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２溶融流量を有し、ここで、該第１溶融流量が該第２溶融流量の５倍超であることを特徴とする、請求項２９に記載のフィルム。

【請求項３２】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１融点温度を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２融点温度を有し、ここで、該第１融点温度が該第２融点温度より少なくとも５℃高いことを特徴とする、請求項２９に記載のフィルム。

【請求項３３】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１融点温度を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２融点温度を有し、ここで、該第１融点温度が該第２融点温度より少なくとも１０℃高いことを特徴とする、請求項２９に記載のフィルム。

【請求項３４】　前記α－オレフィンが３ないし１７個の炭素を有することを特徴とする、請求項２６に記載のフィルム。

【請求項３５】　前記α－オレフィンが４ないし８個の炭素を有することを特徴とする、請求項２６に記載のフィルム。

【請求項３６】　エチレンとα－オレフィンとの前記コポリマーが単一サイト触媒を使って得られることを特徴とする、請求項３５に記載のフィルム。

【請求項３７】　ＡＳＴＭ　Ｄ１００３に従って測定されると前記内部ヘーズが１５％未満であることを特徴とする、請求項２６に記載のフィルム。

【請求項３８】　単層フィルムにおいて、該フィルムが第１成分と第２成分とのブレンドを含有し、

該第１成分が、０．９１５ｇ／ｃｃ未満の密度を有する、エチレンとα－オレフィンとのコポリマーからなり、また、該フィルムの重量で９９％ないし５５％の量で存在し、

該第２成分が、該フィルムの重量で４５％ないし１％の量であり、また、（１）プロピレン含有ポリマー、（２）ポリブテンポリマー、（３）ポリメチルペンテンポリマー、（４）環状オレフィン含有ポリマー及び（５）架橋型多環式炭化水素含有ポリマーからなる群より選択され、そして、

該フィルムが、２０ｋＧｙないし２００ｋＧｙの線量で電子ビーム照射を受けることを特徴とする、フィルム。

【請求項３９】　請求項３８に記載のフィルムが、５ミルないし１５ミルの厚さを有するフィルムについて、ＡＳＴＭ　Ｄ８８２に従って測定されると６０，０００ｐｓｉ未満の弾性率、ＡＳＴＭ　Ｄ１００３に従って測定されると２５％未満の内部ヘーズ、２超の内部粘着力の等級、１２０℃で２７ｐｓｉの荷重のもとで１５０％以下の試料クリープを有すること、及び該フィルムがヒートシール可能である、又はヒートシールされてシール部を有する容器となり、該容器が１２１℃で１時間加圧蒸気滅菌されたとき、該シール部が無傷のままであることを特徴とする、フィルム。

【請求項４０】　前記フィルムが、電子ビーム放射線に曝露されるとき、周囲条件より低い酸素分圧に曝されることを特徴とする、請求項３８に記載のフィルム。

【請求項４１】　前記プロピレン含有ポリマーが、ポリプロピレンのホモポリマー、並びにプロピレンと、２ないし１７個の炭素を有するα－オレフィンから選ばれる１種以上のコモノマーとのランダム及びブロックコポリマー並びにランダム及びブロックターポ

リマーから成る群から選ばれることを特徴とする、請求項３８に記載のフィルム。

【請求項４２】　前記第２成分が、前記コポリマーの重量で１－６％のエチレン含量を有する、プロピレンとエチレンとのコポリマーであることを特徴とする、請求項３８に記載のフィルム。

【請求項４３】　前記第２成分が、第１プロピレン含有ポリマーと第２プロピレン含有ポリマーとのブレンドであることを特徴とする、請求項３８に記載のフィルム。

【請求項４４】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１溶融流量を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２溶融流量を有し、ここで、該第１溶融流量が該第２溶融流量の３倍超であることを特徴とする、請求項４３に記載のフィルム。

【請求項４５】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１溶融流量を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２溶融流量を有し、ここで、該第１溶融流量が該第２溶融流量の５倍超であることを特徴とする、請求項４３に記載のフィルム。

【請求項４６】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１融点温度を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２融点温度を有し、ここで、該第１融点温度が該第２融点温度より少なくとも５℃高いことを特徴とする、請求項４３に記載のフィルム。

【請求項４７】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１融点温度を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２融点温度を有し、ここで、該第１融点温度が該第２融点温度より少なくとも１０℃高いことを特徴とする、請求項４３に記載のフィルム。

【請求項４８】　前記環状オレフィンが前記環の中に５ないし１０個の炭素を有することを特徴とする、請求項３８に記載のフィルム。

【請求項４９】　前記環状オレフィンが、置換及び非置換シクロペンテン、シクロペンタジエン、シクロヘキセン、シクロヘキサジエン、シクロヘプテン、シクロヘプタジエン、シクロオクテン、及びシクロオクタジエンから成る群から選ばれることを特徴とする、請求項３８に記載のフィルム。

【請求項５０】　前記架橋型多環式炭化水素が少なくとも７個の炭素を有することを特徴とする、請求項３８に記載のフィルム。

【請求項５１】　前記α－オレフィンが３ないし１７個の炭素を有することを特徴とする、請求項３８に記載のフィルム。

【請求項５２】　前記α－オレフィンが４ないし８個の炭素を有することを特徴とする、請求項３８に記載のフィルム。

【請求項５３】　エチレンとα－オレフィンとの前記コポリマーが単一サイト触媒を使って得られることを特徴とする、請求項５１に記載のフィルム。

【請求項５４】　非配向型で非ＰＶＣ含有フィルムの製造方法において、

第１成分を提供する工程であって、該第１成分が、０．９１５ｇ／ｃｃ未満の密度を有する、エチレンとα－オレフィンとのコポリマーからなり、また、前記ブレンドの重量で９９％ないし５５％の量で存在する、工程、

第２成分を該ブレンドの重量で４５％ないし１％の量で提供する工程であって、該第２成分が、（１）プロピレン含有ポリマー、（２）ポリブテンポリマー、（３）ポリメチルペンテンポリマー、（４）環状オレフィン含有ポリマー及び（５）架橋型多環式炭化水素含有ポリマーからなる群より選択される、工程、

該第１成分及び該第２成分を混合してブレンドを定義する工程、

該フィルムを、２０ｋＧｙないし２００ｋＧｙの線量で電子ビーム放射線に曝露する工程、並びに

該ブレンドを加工して単層フィルムにする工程であって、該フィルムは、５ミルないし１５ミルの厚さを有するフィルムについて、ＡＳＴＭ　Ｄ８８２に従って測定されると６０，０００ｐｓｉ未満の弾性率、ＡＳＴＭ　Ｄ１００３に従って測定されると２５％未満の内部ヘーズ、２超の内部粘着力の等級、１２０℃で２７ｐｓｉの荷重のもとで１５０％以下の試料クリープを有し、かつ、該フィルムがヒートシール可能である、又はヒートシールされてシール部を有する容器となり、該容器が１２１℃で１時間加圧蒸気滅菌されたとき、該シール部が無傷のままである、工程、

の各工程から成ること、
を特徴とする、方法。
【請求項５５】 前記プロピレン含有ポリマーが、ポリプロピレンのホモポリマー、並びにプロピレンと、２ないし１７個の炭素を有するα－オレフィンから選ばれる１種以上のコモノマーとのランダム及びブロックコポリマー並びにランダム及びブロックターポリマーから成る群から選ばれることを特徴とする、請求項５４に記載の方法。
【請求項５６】 前記第２成分が、前記コポリマーの重量で１－６％のエチレン含量を有する、プロピレンとエチレンとのコポリマーであることを特徴とする、請求項５４に記載の方法。
【請求項５７】 前記第２成分が、第１プロピレン含有ポリマーと第２プロピレン含有ポリマーとのブレンドであることを特徴とする、請求項５４に記載の方法。
【請求項５８】 前記第１プロピレン含有ポリマーが第１溶融流量を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２溶融流量を有し、ここで、該第１溶融流量が該第２溶融流量の３倍超であることを特徴とする、請求項５４に記載の方法。
【請求項５９】 前記第１プロピレン含有ポリマーが第１溶融流量を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２溶融流量を有し、ここで、該第１溶融流量が該第２溶融流量の５倍超であることを特徴とする、請求項５７に記載の方法。
【請求項６０】 前記第１プロピレン含有ポリマーが第１融点温度を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２融点温度を有し、ここで、該第１融点温度が該第２融点温度より少なくとも５℃高いことを特徴とする、請求項５７に記載の方法。
【請求項６１】 前記第１プロピレン含有ポリマーが第１融点温度を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２融点温度を有し、ここで、該第１融点温度が該第２融点温度より少なくとも１０℃高いことを特徴とする、請求項５７に記載の方法。
【請求項６２】 前記α－オレフィンが３ないし１７個の炭素を有することを特徴とする、請求項５４に記載の方法。
【請求項６３】 前記α－オレフィンが４ないし８個の炭素を有することを特徴とする、請求項５４に記載の方法。
【請求項６４】 エチレンとα－オレフィンとの前記コポリマーが単一サイト触媒を使って得られることを特徴とする、請求項６３に記載の方法。
【請求項６５】 前記ブレンドを単層フィルムに加工する工程が該ブレンドを押出す工程を含むことを特徴とする、請求項５４に記載の方法。
【請求項６６】 単層フィルム、又は多層フィルムの内の１層を作製するための方法において、該方法が：
第１成分を提供する工程であって、該第１成分が、０．９１５ｇ／ｃｃ未満の密度を有する、エチレンとα－オレフィンとのコポリマーからなり、また、前記ブレンドの重量で９９％ないし５５％の量で存在する、工程、
第２成分を該ブレンドの重量で４５％ないし１％の量で提供する工程であって、該第２成分が、（１）プロピレン含有ポリマー、（２）ポリブテンポリマー、（３）ポリメチルペンテンポリマー、（４）環状オレフィン含有ポリマー及び（５）架橋型多環式炭化水素含有ポリマーからなる群より選択される、工程、
該第１成分及び該第２成分を混合してブレンドを定義する工程、
該ブレンドを単層フィルム、又は多層フィルムの内の１層に加工して構造体を定義する工程、及び
該フィルムを２０ｋＧｙないし２００ｋＧｙの線量で電子ビーム放射線に曝露する工程、
の各工程を含むことを特徴とする、方法。
【請求項６７】 前記フィルムが、５ミルないし１５ミルの厚さを有するフィルムについて、ＡＳＴＭ Ｄ８８２に従って測定されると６０，０００ｐｓｉ未満の弾性率、ＡＳＴＭ Ｄ１００３に従って測定されると２５％未満の内部ヘーズ、２超の内部粘着力の等級、１２０℃で２７ｐｓｉの荷重のもとで１５０％以下の試料クリープを有すること、

及び該フィルムがヒートシール可能である、又はヒートシールされてシール部を有する容器となり、該容器が１２１℃で１時間加圧蒸気滅菌されたとき、該シール部が無傷のままであることを特徴とする、請求項６６に記載の方法。

【請求項６８】　前記フィルムが曝露される工程が、周囲条件より低い酸素分圧を減少する工程を含むことを特徴とする、請求項６６に記載の方法。

【請求項６９】　前記プロピレン含有ポリマーが、ポリプロピレンのホモポリマー、並びにプロピレンと、２ないし１７個の炭素を有するα－オレフィンから選ばれる１種以上のコモノマーとのランダム及びブロックコポリマー並びにランダム及びブロックターポリマーから成る群から選ばれることを特徴とする、請求項６６に記載の方法。

【請求項７０】　前記第２成分が、前記コポリマーの重量で１－６％のエチレン含量を有する、プロピレンとエチレンとのコポリマーであることを特徴とする、請求項６６に記載の方法。

【請求項７１】　前記第２成分が、第１プロピレン含有ポリマーと第２プロピレン含有ポリマーとのブレンドであることを特徴とする、請求項６６に記載の方法。

【請求項７２】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１溶融流量を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２溶融流量を有し、ここで、該第１溶融流量が該第２溶融流量の３倍超であることを特徴とする、請求項７１に記載の方法。

【請求項７３】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１溶融流量を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２溶融流量を有し、ここで、該第１溶融流量が該第２溶融流量の５倍超であることを特徴とする、請求項７１に記載の方法。

【請求項７４】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１融点温度を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２融点温度を有し、ここで、該第１融点温度が該第２融点温度より少なくとも５℃高いことを特徴とする、請求項７１に記載の方法。

【請求項７５】　前記第１プロピレン含有ポリマーが第１融点温度を有し、前記第２プロピレン含有ポリマーが第２融点温度を有し、ここで、該第１融点温度が該第２融点温度より少なくとも１０℃高いことを特徴とする、請求項７１に記載の方法。

【請求項７６】　前記α－オレフィンが３ないし１７個の炭素を有することを特徴とする、請求項６６に記載の方法。

【請求項７７】　前記α－オレフィンが４ないし８個の炭素を有することを特徴とする、請求項６６に記載の方法。

【請求項７８】　エチレンとα－オレフィンとの前記コポリマーが単一サイト触媒を使って得られることを特徴とする、請求項７６に記載の方法。

【請求項７９】　前記ブレンドの加工工程が、前記ブレンドをフィルムに、又は多層フィルムの内の１層に押出す工程を含むことを特徴とする、請求項６６に記載の方法。